

7款 商工費 1項 商工費

(単位:千円)

商工業振興対策事業補助金(商工業振興対策費)					商工観光課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,000	5,079				6,921
【施策の目的】 商工業の指導育成及び総合的発展を図るための事業を行う小郡市商工会を支援する。 【国庫支出金の内訳】 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 5,079 千円 【施策の実施】 ○経営、金融、労働、税務、創業、事業承継等の個別相談・指導 巡回及び窓口にて、延べ827企業を対象に計1854回実施 ○各種事業 ・総合振興事業 ・労務対策事業 ・青年部・女性部事業 ・商業振興事業 ・工業振興事業 ・観光振興事業 ・サービス業振興事業 ・その他の事業 【施策額の内訳】 商工業振興対策事業補助金 12,000千円 【施策の評価】 小郡市商工会では、地域の経済・雇用を支える中・小規模事業者に対し、事業計画や経営革新計画の策定を支援するため、各種相談、指導、講習会等を実施した。計画策定後の販路開拓など継続的にフォローアップを行い、伴走型支援を行った。また、市創業支援等事業計画の認定連携創業支援事業者として、創業支援塾の開催や市創業者支援事業補助金の申請者に対し指導等を行った。 また、近年は大規模な自然災害が相次いでいることを受け、事業継続力強化支援計画に基づき、小規模事業者の事業継続力強化の取組みを支援することができた。					
まちの元気再発見事業補助金(まちの元気再発見事業)					商工観光課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,000	500				500
【施策の目的】 電子版「ミ・シ・ラ・ン・小郡」を活用し、大型店にはない市内店舗の良さや旬な情報を発信し、販路開拓、販売力アップにつなげることを目的とする。また、店舗の情報や地域情報を随時発信していくことで、消費者ニーズの再確認、参加店の意識改革や事業改善につなげ、地域の商工業の活性化を図る。 【国庫支出金の内訳】 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 500 千円 【施策の実施】 ・「ミ・シ・ラ・ン・小郡」ウェブサイトの改良…トップ画面改良、ショッピングアイコン・ふるさと納税アイコン追加 ・情報発信支援事業…8事業所に対し、SNSを活用した情報発信の個別支援を行った 【施策額の内訳】 まちの元気再発見事業補助金 1,000千円 【施策の評価】 令和4年度から運用を開始した、電子版の「ミ・シ・ラ・ン・小郡」では、冊子発行の時にはできなかったタイムリーな情報発信ができるようになっており、令和6年度は、より見やすく活用しやすくなるよう改良を行った。また、新規施策として、各事業所のSNSを活用した情報発信を強化するため、専門家による個別支援を行った。今後は、電子版「ミ・シ・ラ・ン・小郡」の情報発信の頻度と内容を充実させるとともに、各事業所の情報発信力の強化に対しても支援を行っていく。					

地域商品券発行事業補助金(地域商品券発行事業)					商工観光課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
59,804	52,642			7,162	
【施策の目的】 市内での消費喚起と地域経済の活性化を目的として、小郡市商工会が実施するプレミアム付商品券「將軍藤小判」及び「將軍藤ペイ」発行事業に対し、県と協調補助を行う。					
【国庫支出金の内訳】 地方創生臨時交付金 52,642千円					
【施策の実施】 ①プレミアム付商品券「將軍藤小判」 ・販売開始日 令和6年8月1日 ※9月10日完売 ・使用期間 令和6年8月1日～令和6年12月31日 ・取扱加盟店 265事業所 ・内容 現金10,000円で13,000円分の商品券(500円券の26枚綴り)【プレミアム率:30%】 5,000円分が大型店も利用可能な共通券、8,000円分が地元商店のみ利用可能な限定券 限定10,000セット販売(発行総額130,000千円) ②プレミアム付電子商品券「將軍藤ペイ」 ・販売開始日 令和6年8月8日 ※9月10日完売 ・使用期間 令和6年8月8日～令和6年12月31日 ・取扱加盟店 200事業所 ・内容 10,000円で13,000円分のデジタル商品券【プレミアム率:30%】 5,000円分が大型店も利用可能な共通券、8,000円分が地元商店のみ利用可能な限定券 限定20,000セット販売(発行総額260,000千円)					
【施策額の内訳】 地域商品券発行事業補助金 59,804千円 (プレミアム分)					
【施策の評価】 市内の消費喚起を目的にプレミアム付商品券を販売しているが、早々に完売するなど、市内外の消費者ニーズも高い。令和6年度は、原油価格・物価高騰の影響を受けている市民及び事業者並びに大規模店出店の影響が懸念される小規模事業者を支援するため、コロナ禍から4年間実施してきたプレミアム率20%を30%に拡充して実施した。 また、電子商品券の発行割合を増やし、キャッシュレス決済の普及と事務負担の軽減に寄与した。					
鴨のまちプロジェクト実行委員会補助金(商業活性化事業)					商工観光課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,000				5,000	
【施策の目的】 小郡と結びつきが強い鴨を活用し、食文化の継承や新たな特産品開発などのブランディングを行い、市内外に「鴨のまち小郡」を発信し、認知度の向上と郷土愛の醸成を図る。					
【施策の実施】 ○鴨フェアの開催(R7.1.14～2.28の約1か月半) 市内飲食店17店舗が参加し、天然鴨や合鴨を使った多種多様なメニューを提供するフェアを開催した。プレミアム食事券やスタンプラリーを実施すると共に、鴨PRキャラクター「かもんちゃん」グッズを作成し、フェアを盛り上げることができた。 ○「鴨のまち小郡」PR冊子の作成 小郡と鴨の歴史や鴨の栄養素、市内鴨料理提供店をまとめたPR冊子を5000部作成。 市内外への観光PRツールとして活用している。また市ホームページ上にデジタルブック版を掲載している。 ○かもーん！キッチンビアガーデンの開催(R6.9.27) 高速高架下交流ひろばにおいて、鴨料理とお酒、音楽を楽しむイベントを開催し、市内外から多くの方で賑わい、小郡駅周辺の商業活性化にも寄与した。					
【施策額の内訳】 ・鴨のまちプロジェクト実行委員会補助金 5,000 千円					

【施策の評価】

令和4年度にスタートした「鴨のまちプロジェクト」は、小郡と鴨の関わりについての情報発信や市内飲食店で鴨料理を楽しむイベントを通して、「小郡といえば鴨」「鴨のまち小郡」の認知度向上を目指している。

令和6年度は「企業版ふるさと納税」を活用し、高速高架下交流ひろばでのイベント開催やPR冊子の作成など、より広域に発信することができた。

また、令和7年2月22日に「鴨の日宣言」を行い、毎月22日を「鴨の日」に設定したことを受け、今後も商工会や観光協会と連携し、「鴨のまち小郡」の取組を推進していく。

観光推進事業補助金(観光推進費)

商工観光課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,999	1,881				2,118

【施策の目的】

小郡市の観光資源や物産を活かした事業を行い、地域の活性化や産業振興を促進する。

【国庫支出金の内訳】

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 1,881 千円

【施策の実施】

○小郡市観光協会

1. スプリングフェスタ事業

「小郡スプリングフェスタ2024～グルメ&スイーツ大作戦in小郡～」の実施 来場者:約6,000人

日時:令和6年4月21日(日) 場所:小郡市生涯学習センター

- ・スイーツコレクション(市内を中心とした菓子店によるスイーツの販売)
- ・食の祭典(市内飲食店を中心に肉グルメをテーマに実施)
- ・ステージイベント、体験イベント

2.福岡・大分デスティネーションキャンペーンPR事業

令和6年4～6月の「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」期間中、市内事業者と協力し、観光の特別コンテンツを造成した。西鉄小郡駅構内に案内パネルやパンフレット等を設置し、PRを行った。

3.七夕俳句事業

応募数1937作品(一般の部937作品、中学生以下の部門1000作品)

4.「鴨と文化財と音楽と」事業 参加者23人

国の有形文化財に登録された店舗で、鴨を取り入れた食事と音楽演奏を楽しみながら、小郡の歴史と鴨の食文化の認知度向上につながる事業を実施した。

○「のるーと小郡」日祝日運行

タクシー会社2社の協力を得て、「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」期間中、「のるーと小郡」の日祝日運行を行った。

【施策額の内訳】

○観光推進事業補助金(小郡市観光協会) 3,313千円

○観光推進事業補助金(「のるーと小郡」日祝日運行) 686千円

【施策の評価】

コロナ禍で中止が続いていた「オータムフェスタ」が令和5年に「スプリングフェスタ」として復活し、2回目の開催となったが、多くの来場者で賑わい、本市の観光イベントとして定着しつつある。

令和6年4月～6月は、福岡県と大分県、JRグループが共同で行う大型観光キャンペーン「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」にあわせて、特別コンテンツを造成し、観光客の受け入れに注力した。

また、「鴨のまち小郡」をPRするため初開催した「鴨と文化財と音楽と」事業は、募集定員を上回る参加者があり、好評を得たため、次年度以降も継続していきたい。

今後も関係団体や周辺自治体とより一層の連携を強めながら、本市の観光推進と地域活性化に寄与する活動を支援していく。

観光協会管理運営事業補助金(観光推進費)

商工観光課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,500	5,250	2,972			2,278

【施策の目的】

市内の観光資源を活かして市内外に小郡市の魅力を周知することで、地域の活性化を図る。

【国庫支出金の内訳】

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 5,250 千円

【施策の実施】

「一般社団法人小郡市観光協会」の管理運営に対し、運営費を補助する。

- ・ 事務所の管理・運営
- ・ 市内イベントの主催・運営
スプリングフェスタ等のイベントの主催・運営
- ・ 地域の観光事業発展を目的とする関係団体・委員会等への参画
市民まつり実行委員会、七タプロジェクト会議
小郡市観光地域づくり推進委員会
サイクルツーリズム推進協議会 等

【施策額の内訳】

観光協会管理運営事業補助金 10,500 千円

【施策の評価】

小郡市観光協会は、本市の観光情報発信で中心的な役割を果たしており、市の大規模イベントであるスプリングフェスタを主催し、関係団体や各事業者と連携して多くの来場者及び関係人口創出に貢献している。

また、市内の各種イベント(小郡市民まつり実行委員会)や、七タプロジェクト会議、小郡市観光地域づくり推進委員会等に参画し、地域の観光事業の発展に寄与した。

おごおり情報プラザ事業(インフォメーションセンター管理運営事業)

商工観光課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,981	1,490				1,491

【施策の目的】

平成25年11月に開店したイオン小郡店内にインフォメーションセンターを開設し、観光情報、市政情報等を来訪者に提供する。

【国庫支出金の内訳】

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 1,490 千円

【施策の実施】

当該施設に人員を配置し、紙媒体及びタブレット等の電子媒体で、来訪者に情報提供を行う事業を一般社団法人小郡市観光協会に委託する。

営業日 毎週水曜日を除く週6日、ただし年末年始(12月28日～1月4日)を除く

営業時間 10:00～13:00、14:00～18:00

来訪者数 年間 11,206人 (令和5年度12,405人)

※臨時休業 台風の影響による休業:8月29日～30日

【施策額の内訳】

インフォメーションセンター運営委託料 2,981 千円

【施策の評価】

多くの方が利用するイオン小郡店内に設置し、土日祝も開設することで、市内外の利用者に喜ばれている。

観光情報については、窓口で受けた来訪者の声を参考に、チラシや掲示物を作成したり、SNSで発信したりする等ニーズに合った対応により、来訪者へ広く市の魅力を紹介することができている。

また、市政情報については、情報プラザで受けた来訪者からの問合せや意見等を庁内全体に毎月フィードバックすることで市民サービスの向上に寄与している。

小郡市民まつり補助金(七タプロジェクト事業)

商工観光課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,587	1,293			1,294	

【施策の目的】

市民相互の融和と郷土愛の育成を図るため、幅広く市民が関わり、市民に親しまれる「市民まつり」を主催する「小郡市民まつり実行委員会」に対して補助を行う。

【国庫支出金の内訳】

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 1,293 千円

【施策の実施】

2024小郡市民まつり

- ・開催日 10月20日(日) 11:00～18:00
- ・場 所 生涯学習センター、文化会館、七夕広場
- ・来場者 約7,000人
- ・内 容
 - ・吹奏楽演奏会
 - ・歌うまコンテスト
 - ・何でん！やりんしゃい！！
 - ・白鷺会太鼓
 - ・市民総踊り
 - ・警察・消防車両展示、 など

【施策額の内訳】

小郡市民まつり補助金 2,587 千円

【施策の評価】

令和6年度の「市民まつり」は、新しいイベントとして「歌うまコンテスト」を開催したが、9月27日に高速高架下交流ひろばで実施した予選会から、参加者、聴衆が一体となって盛り上がる企画となった。
 他にも、女子サッカーチーム福岡J・アンクラスによる子どもたちのミニサッカー体験、警察・消防車両への搭乗体験、文化会館では中学生・高校生・自衛隊・市民吹奏楽団による演奏を行うなど様々な団体と協力してつくる市民まつりになった。
 次年度以降についても、安全対策に十分注意して、より一層多くの市民に愛される市民まつりを実施したい。

七夕プロジェクト事業補助金(七夕プロジェクト事業)

商工観光課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,700	1,350			1,350	

【施策の目的】

本市の地域資源である「七夕」を小郡の地域ブランドとして再構築し、「にぎわい」をコンセプトに七夕を活用した地域活性化を目指す「七夕プロジェクト」を推進する。

【国庫支出金の内訳】

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 1,350 千円

【施策の実施】

市や関係団体が連携して取り組むため、方針の決定及び実施に向けた協議・調整を行う場として「おごおり七夕プロジェクト会議」を組織。プロジェクト推進のため、1. イメージ戦略 2. 商品戦略 3. イベント戦略の3つの戦略に沿って事業を展開する。

- 七夕プロジェクト事業補助金
 - ・関係団体が実施する七夕に関連する事業への補助

【施策額の内訳】

- 七夕プロジェクト事業補助金
 - ・七夕月間事業 500 千円
 - ・七夕の里振興協会事業 400 千円
 - ・賑わい創出イルミネーション事業 1,500 千円
 - ・新規事業補助金(七夕の里PR包材) 300 千円

【施策の評価】

7月～8月の2か月を「七夕月間」として集中的に七夕イメージのPRに努めた。具体的には、市内外の施設への笹・短冊の設置や、パンフレット等の配布、SNSでの情報発信等を行った。今年は初めて市内小学校に笹・短冊の設置を行い、児童が多くの願いごとを書いて笹に飾ることによって、児童と先生のコミュニケーションに繋がったという声が聞かれた。
 さらに市LINEの友だち機能を使用した「デジタル短冊」の企画や包括連携協定を締結した企業と連携し、小郡市役所で入籍した方へのフォトサービス等の企画を行った。
 今後も、「七夕」という資源を活かして市のPRを進めたい。

消費生活相談費

商工観光課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,504		1,518			3,986

【施策の目的】

消費者トラブルに対し、迅速かつ適切に対応することができるよう、消費生活相談室を設置し、相談体制の充実・強化を図る。また、消費者トラブルを未然に防ぐため、消費者教育・啓発事業の充実・強化を図る。

【施策の実施】

○相談窓口

小郡市消費生活相談室

・相談日 毎週月～金曜日(祝日を除く。)

・受付時間 9:00～12:00、13:00～16:00

○相談件数

386件

○相談内訳

(主な相談内容・件数等)

順位	項目	件数	主な内容
1	保健衛生品	49	化粧品(化粧クリーム・美容液)、医薬品、医療用具
2	運輸・通信サービス	38	インターネット通信(光回線)、移動通信サービス
3	商品一般	37	迷惑電話、迷惑メール、架空請求
4	金融・保険サービス	36	クレジットを含む融資サービス、保険、投資商品
5	食料品	24	健康食品、穀類(パン等)

(年代別件数)

年代	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	その他	合計
件数	8	19	25	35	49	69	151	30	386

○相談員等レベルアップ事業(国民生活センター主催のオンライン研修)

○消費者教育・啓発事業

- ・広報おごりに記事掲載(毎月1日号)
- ・出前講座(12回実施、参加者数246名)
- ・各種リーフレット等の配布

【施策額の内訳】

消費生活相談員2名報酬・共済組合費・費用弁償	5,217 千円
研修等参加旅費	5 千円
消耗品費(啓発資料等購入)	195 千円
通信運搬費	84 千円
研修等参加負担金	3 千円

【施策の評価】

近年、スマホを使用したネットショッピング、特に「定期購入」に関するトラブルが急増している。また、高齢者の相談が年々増加してきており、訪問販売や電話勧誘による契約に関する相談が多い。消費者トラブルを未然に防ぐために重要な教育・啓発活動は、長年続けてきており、令和6年度は、ふれあいネットワークと連携し高齢者向けの講座を多く開催し、情報交換をしながら学ぶ機会となった。

今後は、若年層を対象とした啓発を強化するなど、積極的な教育・啓発活動に努めていく。